

## 2024 年度人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：星純子

事業区分：学生の教育研究活動支援

事項：実地学習（国立西洋美術館）への交通費補助

期間：2024 年 12 月

対象学年：3 年次 4 人、4 年次 1 人（うち支出者 5 人）

内容 報告項目：メジャー専門ゼミナール（星）

報告内容：以下に記述

### 1. 活動目的

ゼミで James C. Scott, 1998, *Seeing Like a State*, Yale University Press. を輪読し、ハイモダニズムについて学んだ。同書の中にハイモダニズム建築家・思想家のル・コルビュジェが登場したが、ル・コルビュジェが日本で唯一設計した建造物である国立西洋美術館を見学し、ハイモダニズムをよりよく理解した。

### 2. 活動内容と成果

ル・コルビュジェは 1920 年代から近代建築を次々と発表したが、1928 年に近代建築国際会議（CIAM）を立ち上げ、組織的な近代建築運動を始めた。そこで提唱された近代建築の 5 原則は 1 ピロティ、2 屋上庭園、3 自由な設計図、4 水平連続窓、5 自由なファサードであり、国立西洋美術館（1959 年）もこれを踏襲していることがわかった。館内に入ると、スコットの議論に出てくる legibility(可視性)が徹底された空間であることも分かった。

### 3. 訪問先の写真



このたびの調査で、現場の雰囲気など貴重な機会を頂きました。後援会費からのご支援により交通費の一部を補助していただき、感謝申し上げます。